

関西創生のための高速道路ネットワーク の早期整備に関する要望

～大阪湾岸道路西伸部・淀川左岸線延伸部～

平成29（2017）年8月

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会
大阪商工会議所
神戸商工会議所
関西経済同友会
大阪府
兵庫県
大阪市
神戸市

関西は、古くからアジアのゲートウェイとして、日本と海外の窓口としての役割を果たしてきました。その一方で、日本の三大都市圏の中では、大阪湾岸道路西伸部及び淀川左岸線延伸部は事業着手されたものの、首都圏及び中部圏と比べて環状道路の整備が大きく遅れています。

一億総活躍社会を通じた日本経済のさらなる発展のためには、その基礎となるインフラを必要な予算措置を講じることにより着実に整備して魅力ある関西の持つポテンシャルを最大限発揮させ、政府の推進するスーパー・メガリージョン構想を一日も早く実現することが喫緊の課題です。そのためには、大阪湾ベイエリアの重要拠点である国際コンテナ戦略港湾「阪神港」・国際拠点空港「関西国際空港」と、国土軸である新名神・名神高速道路との連絡機能を強化することで、物流機能をより一層強化し、生産性を向上させるとともに、リニア中央新幹線・北陸新幹線の大阪延伸やなにわ筋線の開業等による観光面も含めた関西への人流をさらに活発化させることが重要です。

関西のヒト・モノの円滑な移動を阻害している阪神間や大阪都心部等における慢性的な渋滞を解消するとともに、大規模災害等に備えた強靱な国土づくりを引き続き着実に進めていくためにも、大阪湾岸道路西伸部（大阪湾環状道路を形成）及び淀川左岸線延伸部（大阪都市再生環状道路を形成）等の環状道路のミッシングリンク（未整備区間）を早急に整備することが必要不可欠です。

また、加速度的に進む高速道路の老朽化対策を円滑に進めるためにも、代替道路としての役割を果たす環状道路を十二分に活用していくことが必要です。

今年6月には、首都圏に引き続いて関西にも「高速道路を賢く使う」高速道路料金を導入し、両路線に有料道路事業を導入していただきました。一方、国直轄道路事業については、毎年度、確実に予算を措置していただく必要があります。

関西を元気にするために、引き続き、地元の理解や協力を得ながら事業が円滑に進むよう、関西の経済界及び自治体の官民が一体となって取り組めますので、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1. 広域的なネットワークを形成し、関西のインフラが持つストック効果を最大限に発揮させる重要な路線であることから、両路線の早期整備を行うこと。
大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）：国直轄道路事業の予算確保
淀川左岸線延伸部：同上
2. 上記2路線の機能を効果的に発揮させる路線（名神湾岸連絡線、神戸西バイパス、淀川左岸線2期及び大和川線）についても、早期整備を行うこと。

平成29（2017）年8月21日

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会会長	松本 正義
大阪商工会議所会頭	尾崎 裕
神戸商工会議所会頭	家次 恒
関西経済同友会代表幹事	鈴木 博之
同	黒田 章裕
大阪府知事	松井 一郎
兵庫県知事	井戸 敏三
大阪市長	吉村 洋文
神戸市長	久元 喜造